

口腔機能の向上②

口腔機能に係るリスクが高い(基本チェックリストで口腔関連の3項目中2項目以上該当する(目的変数が基本チェックリストの改善)、または、かみしめが「片方だけできる」もしくは「どちらもできない」(目的変数がかみしめの改善))者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

○介護予防通所介護、介護予防通所リハビリテーションの口腔機能の向上サービスを受けている者は改善しやすい。

・要支援者では、介護予防通所介護及び介護予防通所リハビリテーションの口腔機能の向上サービスを実施している場合、かみしめの改善のオッズ比が有意に1より大。

		特定高齢者						要支援者					
		基本チェックリスト(口腔機能関連項目)			かみしめ			基本チェックリスト(口腔機能関連項目)			かみしめ		
		オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値
疾患既往歴(脳血管疾患)	あり	1.00		-	1.00		-	1.00		-	1.00		-
	なし	1.27	(0.7-2.31)	0.428	1.03	(0.44-2.42)	0.938	0.93	(0.72-1.21)	0.601	0.92	(0.68-1.25)	0.593
疾患既往歴(関節疾患)	あり	1.00		-	1.00		-	1.00		-	1.00		-
	なし	1.12	(0.72-1.73)	0.615	0.63	(0.36-1.11)	0.112	0.88	(0.7-1.11)	0.280	0.84	(0.65-1.1)	0.199
疾患既往歴(認知症)	あり	1.00		-	1.00		-	1.00		-	1.00		-
	なし	0.42	(0.12-1.5)	0.179	1.41	(0.22-9.18)	0.718	0.62	(0.35-1.1)	0.101	1.89	(0.95-3.78)	0.070
疾患既往歴(骨折・転倒)	あり	1.00		-	1.00		-	1.00		-	1.00		-
	なし	1.05	(0.57-1.95)	0.867	0.71	(0.33-1.51)	0.371	1.08	(0.83-1.41)	0.569	1.20	(0.9-1.6)	0.211
疾患既往歴(高齢による衰弱)	あり	1.00		-	1.00		-	1.00		-	1.00		-
	なし	0.82	(0.41-1.66)	0.587	0.81	(0.36-1.79)	0.598	1.01	(0.7-1.48)	0.944	1.72	(1.08-2.73)	0.021
通所型介護予防事業 (口腔機能の向上)	なし	1.00		-	1.00		-			-			-
	あり	1.06	(0.73-1.53)	0.776	1.30	(0.78-2.17)	0.313			-			-
訪問型介護予防事業 (口腔機能の向上)	なし	1.00		-	1.00		-			-			-
	あり	0.41	(0.16-1.04)	0.060	0.67	(0.2-2.23)	0.511			-			-
介護予防通所介護 (口腔機能の向上)	なし			-			-	1.00		-	1.00		-
	あり			-			-	0.98	(0.69-1.37)	0.882	1.47	(1.01-2.16)	0.045
介護予防通所リハビリテーション (口腔機能の向上)	なし			-			-	1.00		-	1.00		-
	あり			-			-	0.98	(0.64-1.49)	0.925	1.68	(1.04-2.72)	0.034

※上記の他、年齢、性別、基本チェックリスト得点、GDS15、長谷川式簡易知能評価スケールを同時に投入

口腔機能の向上③

口腔機能の向上サービスの利用者を対象とした分析。目的変数を基本チェックリスト口腔関連3項目中2項目以上該当の有無、かみしめ、義歯・歯の汚れ(初回「中程度」「多量」への該当の有無)とした分析においては、さらに、それぞれの変数においてリスクが高い者に限定して分析。

※対象者数が少ないため、特定高齢者と要支援者の全数で分析している。

○ 専門職による個別的サービスの1回当たりの実施時間が10分以上30分未満の場合に維持・改善し

やすい。

・専門職による個別的サービス実施時間が1回当たり10分以上30分未満の場合に、基本チェックリスト区分の維持・改善、かみしめの改善のオッズ比が有意に1より大。

	要介護度			基本チェックリスト区分			基本チェックリスト(口腔機能関連項目)			かみしめ			義歯・歯の汚れ			RSST積算時間		
	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値
1か月当たりの口腔機能向上の実施回数																		
0~1回	1.00		-				1.00		-	1.00		-	1.00		-	1.00		-
2回以上	0.98	(0.1-9.7)	0.983				2.69	(0.47-15.36)	0.265	1.13	(0.21-5.98)	0.885	1.51	(0.09-26.06)	0.776	1.16	(0.24-5.58)	0.850
専門職による実施回数																		
0~1回	1.00		-	-			1.00		-	-			1.00		-	1.00		-
2回以上	0.53	(0.11-2.5)	0.422				2.87	(0.74-11.2)	0.129				0.86	(0.08-9.35)	0.899	1.61	(0.37-7.08)	0.525
介護職員等による実施回数																		
0~1回	1.00		-	-						-			1.00		-	1.00		-
2回以上	0.63	(0.16-2.53)	0.519										3.40	(0.52-22.23)	0.202	1.28	(0.48-3.42)	0.617
専門職によるグループサービス実施時間																		
10分未満	1.00		-	-						1.00		-	-			-		
10分~29分	1.64	(0.43-6.31)	0.472							0.47	(0.07-3.2)	0.440						
30分以上	1.25	(0.32-4.91)	0.745							0.56	(0.12-2.57)	0.458						
専門職による個別的サービス実施時間																		
10分未満	-		-	1.00		-	-			1.00		-	1.00		-	-		
10分~29分				3.57	(1.37-9.3)	0.009				6.52	(1.03-41.37)	0.047	0.75	(0.12-4.49)	0.749			
30分以上				1.30	(0.41-4.15)	0.660				4.00	(0.6-26.88)	0.154	5.80	(0.72-46.49)	0.098			
専門職による健口体操																		
なし	-		-	-			-			1.00		-	-			-		
あり										0.13	(0.01-2.48)	0.175						
専門職による口腔清掃の指導																		
なし	-		-	-			-			1.00		-	-			-		
あり										0.45	(0.01-25.39)	0.699						
専門職による口腔清掃の実施																		
なし	-		-	-			1.00		-	1.00		-	-			-		
あり							0.12	(0.03-0.54)	0.006	0.44	(0.08-2.58)	0.366						
専門職による構音・発声訓練																		
なし	-		-	-			-			-			-			1.00		-
あり																1.10	(0.4-3.01)	0.856
介護職員等による口腔清掃の実施																		
なし	1.00		-	1.00		-	-			-			1.00		-	-		
あり	1.29	(0.37-4.49)	0.688	1.11	(0.35-3.49)	0.856							5.25	(1.17-23.53)	0.030	2.31	(0.99-5.37)	0.053
介護職員等による口腔清掃の支援																		
なし	1.00		-	-			-			-			-			-		
あり	0.39	(0.1-1.55)	0.180															
介護職員等による口腔清掃の介助																		
なし	1.00		-	1.00		-	-			-			-			-		
あり	0.40	(0.11-1.42)	0.154	0.12	(0.04-0.4)	<0.001												

※上記の他、年齢、性別を投入して分析

閉じこもり予防・支援①

閉じこもりに係るリスクが高い(基本チェックリストで閉じこもり関連の項目(週1回以上外出、外出回数減少)が該当する、または、日中おもに過ごす場所が「自宅敷地内」の者)を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

○ふだんの過ごし方で役割がある者は改善しやすい。⇒ ふだんの生活に役割を持たせることが重要

・特定高齢者・要支援者ともに、ふだんの過ごし方で役割がある場合は、過ごす場所の改善のオッズ比が有意に1より大。

○困ったときの相談相手、体の具合が悪いとき病院に連れて行ってくれる人がいる者は、改善しやすい。

・特定高齢者では、具合が悪いとき病院に連れて行ってくれる人がいる場合は、週1回以上外出および過ごす場所の改善のオッズ比が有意に1より大。

・要支援者では、困ったときの相談相手がいる場合は、外出回数の改善のオッズ比が有意に1より大。

⇒ 相談できる環境を整備することが重要

	特定高齢者								要支援者															
	基本チェックリスト(週1回以上外出)				基本チェックリスト(外出回数減少)				過ごす場所				基本チェックリスト(週1回以上外出)				基本チェックリスト(外出回数減少)				過ごす場所			
	多変量1		多変量2		多変量1		多変量2		多変量1		多変量2		多変量1		多変量2		多変量1		多変量2		多変量1		多変量2	
	オッズ比 ¹	(95%CI)	p-値	オッズ比 ¹	(95%CI)	p-値	オッズ比 ¹	(95%CI)	p-値	オッズ比 ¹	(95%CI)	p-値	オッズ比 ¹	(95%CI)	p-値	オッズ比 ¹	(95%CI)	p-値	オッズ比 ¹	(95%CI)	p-値	オッズ比 ¹	(95%CI)	p-値
ふだんの過ごし方	役割なし	1.00			1.00				1.00				1.00				1.00				1.00			
	役割あり	1.00	0.56-1.81	0.988	0.99	0.54-1.82	0.973	1.01	0.73-1.40	0.952	1.02	0.73-1.41	0.928	1.51	1.10-2.07	0.011	1.56	1.13-2.15	0.007	1.28	0.96-1.69	0.091	1.24	0.94-1.64
同居者	なし	1.00			1.00				1.00				1.00				1.00				1.00			
	あり	0.74	0.34-1.63	0.458	0.71	0.30-1.65	0.423	1.00	0.67-1.49	0.988	1.00	0.67-1.50	0.999	0.81	0.56-1.18	0.279	0.83	0.57-1.20	0.323	0.93	0.69-1.25	0.628	1.09	0.83-1.43
困ったときの相談相手	なし	1.00			1.00				1.00				1.00				1.00				1.00			
	あり	1.09	0.16-7.37	0.927	0.76	0.10-5.99	0.798	0.72	0.28-1.88	0.507	0.66	0.26-1.73	0.402	1.17	0.37-3.64	0.789	1.23	0.39-3.83	0.722	1.71	0.85-3.46	0.134	1.75	0.87-3.53
体の具合が悪い時の相談相手	なし	1.00			1.00				1.00				1.00				1.00				1.00			
	あり	0.30	0.02-3.64	0.342	0.30	0.02-4.44	0.382	0.89	0.32-2.50	0.821	0.99	0.35-2.79	0.981	1.02	0.32-3.32	0.968	1.06	0.32-3.48	0.922	0.59	0.28-1.21	0.148	0.57	0.28-1.17
日常生活を支援してくれる人	なし	1.00			1.00				1.00				1.00				1.00				1.00			
	あり	1.02	0.28-4.01	0.980	0.74	0.17-3.25	0.694	0.85	0.45-1.59	0.610	0.87	0.46-1.64	0.674	1.32	0.69-2.53	0.410	1.33	0.69-2.57	0.394	0.82	0.49-1.37	0.454	0.83	0.50-1.39
具合が悪いとき病院に連れて行ってくれる人	なし	1.00			1.00				1.00				1.00				1.00				1.00			
	あり	10.40	2.02-53.59	0.005	11.49	2.04-64.62	0.006	1.34	0.60-2.99	0.475	1.41	0.63-3.17	0.403	2.74	1.08-6.96	0.034	2.47	0.97-6.32	0.058	0.86	0.50-1.45	0.561	0.90	0.53-1.52
夜込んだとき身のまわりの世話をしてくれる人	なし	1.00			1.00				1.00				1.00				1.00				1.00			
	あり	0.57	0.12-2.70	0.481	1.04	0.20-5.28	0.962	0.87	0.47-1.61	0.651	0.84	0.45-1.57	0.583	0.75	0.42-1.35	0.338	0.77	0.43-1.39	0.381	1.19	0.78-1.81	0.414	1.00	

※上記の他、年齢、性別、基本チェックリスト得点、長谷川式簡易知能評価スケール、GDS15、認知的活動、疾患既往歴を投入して分析

※多変量1: 上記に加えて、利用している介護予防サービスを投入して分析

※多変量2: 上記に加えて、利用している介護予防サービスの内容を投入して分析

閉じこもり予防・支援②

閉じこもりに係るリスクが高い(基本チェックリストで閉じこもり関連の項目(週1回以上外出、外出回数減少)が該当する、または、日中おもに過ごす場所が「自宅敷地内」の者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

○基本チェックリスト得点が高い(生活機能の程度が高い)者は改善しやすい。

・要支援者では、基本チェックリスト得点が高い場合に、外出回数および過ごす場所の改善のオッズ比が有意に1未満。

⇒ 生活機能の低下が少ない段階からの対応が重要

○認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)は改善しやすい。

・特定高齢者では、認知的活動の得点が高いほど、週1回以上外出の改善のオッズ比が有意に1より大。

⇒ 認知的活動を活発に行うことが重要

	特定高齢者										要支援者																									
	基本チェックリスト(週1回以上外出)					基本チェックリスト(外出回数減少)					過ごす場所					基本チェックリスト(週1回以上外出)					基本チェックリスト(外出回数減少)					過ごす場所										
	多変量 1		多変量 2			多変量 1		多変量 2			多変量 1		多変量 2			多変量 1		多変量 2			多変量 1		多変量 2			多変量 1		多変量 2								
	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値	オッズ比	(95%CI)	p-値						
基本チェックリスト得点	1.05	0.97-1.14	0.212	1.05	0.97-1.13	0.263	0.99	0.94-1.03	0.533	0.99	0.94-1.03	0.540	1.02	0.98-1.07	0.327	1.02	0.98-1.07	0.354	0.99	0.95-1.01	0.252	0.98	0.94-1.01	0.166	0.96	0.94-0.98	0.000	0.96	0.94-0.98	0.000	0.95	0.92-0.98	0.000			
長谷川式簡易知能評価スケール																																				
20点以下	1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00					
21点以上	1.06	0.50-2.25	0.879	1.15	0.52-2.53	0.727	1.17	0.74-1.83	0.507	1.16	0.74-1.84	0.517	1.52	0.91-2.53	0.108	1.52	0.91-2.54	0.112	0.91	0.68-1.23	0.554	0.91	0.68-1.23	0.552	0.95	0.78-1.16	0.601	0.95	0.78-1.16	0.607	1.16	0.89-1.51	0.279	1.17	0.89-1.52	0.261
GDS15																																				
11点以上	1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00					
10点以下	1.68	0.61-4.59	0.315	1.50	0.51-4.44	0.463	1.66	0.93-2.94	0.085	1.73	0.97-3.09	0.066	1.25	0.65-2.43	0.507	1.25	0.64-2.43	0.515	1.08	0.72-1.62	0.716	1.12	0.75-1.66	0.583	1.17	0.92-1.51	0.206	1.19	0.92-1.53	0.176	1.12	0.77-1.62	0.563	1.12	0.77-1.63	0.552
認知的活動																																				
14点以下	1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00					
15-18点	1.13	0.60-2.14	0.707	1.20	0.62-2.35	0.586	0.95	0.57-1.27	0.436	0.89	0.60-1.34	0.582	1.07	0.71-1.62	0.735	1.07	0.71-1.61	0.755	1.38	1.03-1.84	0.030	1.37	1.03-1.82	0.032	1.02	0.85-1.22	0.873	1.01	0.84-1.22	0.886	0.83	0.65-1.05	0.126	0.82	0.65-1.05	0.115
19点以上	3.07	1.46-6.44	0.003	3.12	1.44-6.78	0.004	0.81	0.55-1.19	0.281	0.82	0.55-1.21	0.312	1.33	0.90-1.96	0.149	1.30	0.89-1.92	0.188	1.24	0.92-1.67	0.163	1.23	0.92-1.66	0.166	0.86	0.72-1.03	0.106	0.86	0.71-1.03	0.096	0.94	0.75-1.19	0.627	0.94	0.74-1.18	0.584
疾患既往歴(脳血管疾患)																																				
あり	1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00					
なし	0.84	0.36-1.96	0.693	0.81	0.34-1.96	0.641	0.80	0.49-1.32	0.385	0.78	0.47-1.30	0.343	1.16	0.69-1.95	0.573	1.24	0.73-2.11	0.419	0.88	0.63-1.24	0.462	0.88	0.63-1.23	0.455	0.93	0.76-1.15	0.523	0.94	0.76-1.16	0.567	0.89	0.68-1.17	0.413	0.91	0.69-1.19	0.470
疾患既往歴(関節疾患)																																				
あり	1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00					
なし	1.32	0.70-2.48	0.389	1.33	0.69-2.58	0.405	0.84	0.59-1.20	0.342	0.88	0.61-1.28	0.505	0.99	0.69-1.41	0.935	1.05	0.73-1.51	0.796	1.20	0.90-1.60	0.210	1.16	0.87-1.55	0.299	0.84	0.70-1.00	0.056	0.84	0.70-1.00	0.049	0.72	0.57-0.89	0.003	0.71	0.57-0.89	0.003
疾患既往歴(認知症)																																				
あり	1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00					
なし	0.56	0.14-2.30	0.422	0.44	0.10-1.92	0.275	0.88	0.39-1.97	0.754	0.84	0.38-1.89	0.680	2.88	0.85-9.72	0.088	2.95	0.87-9.98	0.081	1.41	0.82-2.40	0.213	1.41	0.82-2.41	0.210	0.91	0.62-1.32	0.608	0.91	0.62-1.33	0.632	1.00	0.62-1.61	0.999	0.99	0.61-1.59	0.960
疾患既往歴(骨折・転倒)																																				
あり	1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00					
なし	1.85	0.77-4.42	0.167	1.64	0.66-4.10	0.286	0.80	0.51-1.28	0.356	0.78	0.48-1.25	0.297	1.20	0.73-1.96	0.468	1.30	0.79-2.15	0.298	0.87	0.64-1.18	0.371	0.86	0.63-1.16	0.308	1.01	0.83-1.22	0.943	1.00	0.83-1.21	0.992	0.86	0.67-1.11	0.247	0.86	0.67-1.10	0.225
疾患既往歴(高齢による衰弱)																																				
あり	1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00			1.00					
なし	1.33	0.44-4.01	0.615	1.81	0.57-6.74	0.313	0.97	0.56-1.70	0.928	1.00	0.56-1.77	0.997	1.77	0.90-3.47	0.097	1.90	0.96-3.75	0.065	0.65	0.41-1.04	0.071	0.64	0.41-1.02	0.059	1.11	0.83-1.47	0.475	1.11	0.84-1.48	0.461	0.73	0.52-1.02	0.068	0.73	0.52-1.02	0.068

※上記の他、年齢、性別、同居者、ふだんの過ごし方、社会的支援を投入して分析

※多変量1:上記に加えて、利用している介護予防サービスを投入して分析

※多変量2:上記に加えて、利用している介護予防サービスの内容を投入して分析

閉じこもり予防・支援③

閉じこもりに係るリスクが高い(基本チェックリストで閉じこもり関連の項目(週1回以上外出、外出回数減少)が該当する、または、日中おもに過ごす場所が「自宅敷地内」の者)を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

○通所サービスを受けている者は、改善しやすい。

○特に、運動器の機能向上サービスやアクティビティサービスを受けている者は、改善しやすい。

- ・特定高齢者では、通所型介護予防事業(運動器の機能向上サービス)を実施している場合に、週1回以上外出の改善のオッズ比が有意に1より大。
- ・要支援者では、介護予防通所介護、介護予防通所リハビリテーションを実施している場合に、週1回以上外出および外出回数の改善のオッズ比が有意に1より大。特に、運動器の機能向上サービスを実施している場合に週1回以上外出、外出回数および過ごす場所の改善のオッズ比が有意に1より大。また、介護予防通所介護(アクティビティ)を実施している場合に週1回以上外出、過ごす場所の改善のオッズ比が有意に1より大。

○訪問サービスを受けている者は、改善しにくい傾向があるが、生活機能等の状態が悪いため、訪問サービスしか受けられないという可能性があり、今後、さらなる検討が必要。

- ・特定高齢者では、訪問型介護予防事業を実施している場合は、外出回数の改善のオッズ比が有意に1未満。
- ・要支援者では、介護予防訪問介護を実施している場合に、週1回以上外出の改善のオッズ比が有意に1未満

		特定高齢者					
		基本チェックリスト (週1回以上外出)		基本チェックリスト (外出回数減少)		過ごす場所	
		オッズ比: (95%CI)	p-値	オッズ比: (95%CI)	p-値	オッズ比: (95%CI)	p-値
通所型介護予防事業	非実施	1.00		1.00		1.00	
	実施	1.18; 0.22-6.21	0.846	1.36; 0.49-3.76	0.553	1.03; 0.41-2.55	0.957
訪問型介護予防事業	非実施	1.00		1.00		1.00	
	実施	0.41; 0.15-1.11	0.080	0.39; 0.20-0.77	0.007	0.88; 0.46-1.69	0.704
通所型介護予防事業 (運動器の機能向上)	なし	1.00		1.00		1.00	
	あり	4.00; 1.22-13.13	0.022	1.15; 0.63-2.08	0.651	1.48; 0.88-2.50	0.141
通所型介護予防事業 (栄養改善)	なし	1.00		1.00		1.00	
	あり	0.74; 0.24-2.32	0.607	0.58; 0.32-1.05	0.071	0.71; 0.42-1.20	0.206
通所型介護予防事業 (口腔機能の向上)	なし	1.00		1.00		1.00	
	あり	2.47; 0.86-7.09	0.094	1.55; 0.89-2.69	0.119	1.01; 0.63-1.61	0.976
訪問型介護予防事業 (運動器の機能向上)	なし	1.00		1.00		1.00	
	あり	0.22; 0.06-0.79	0.020	0.43; 0.18-1.01	0.052	0.59; 0.26-1.35	0.214
訪問型介護予防事業 (栄養改善)	なし	1.00		1.00		1.00	
	あり	-	-	1.27; 0.21-7.57	0.793	0.58; 0.10-3.56	0.560
訪問型介護予防事業 (口腔機能の向上)	なし	1.00		1.00		1.00	
	あり	-	-	0.11; 0.01-0.92	0.042	2.11; 0.77-5.82	0.148
訪問型介護予防事業 (閉じこもり予防・支援)	なし	1.00		1.00		1.00	
	あり	1.79; 0.01-215.82	0.812	0.26; 0.05-1.41	0.118	0.86; 0.15-5.12	0.872
訪問型介護予防事業 (認知症予防・支援)	なし	1.00		1.00		1.00	
	あり	0.72; 0.01-76.54	0.889	9.89; 0.36-270.66	0.175	0.55; 0.76-4.07	0.562
訪問型介護予防事業 (うつ予防・支援)	なし	1.00		1.00		1.00	
	あり	-	-	3.14; 0.50-19.53	0.220	2.48; 0.48-12.90	0.280

		要支援者					
		基本チェックリスト (週1回以上外出)		基本チェックリスト (外出回数減少)		過ごす場所	
		オッズ比: (95%CI)	p-値	オッズ比: (95%CI)	p-値	オッズ比: (95%CI)	p-値
介護予防通所介護	非実施	1.00		1.00		1.00	
	実施	2.46; 1.82-3.32	0.000	1.03; 0.85-1.25	0.740	1.15; 0.89-1.48	0.277
介護予防通所リハビリテーション	非実施	1.00		1.00		1.00	
	実施	2.68; 1.91-3.78	0.000	1.26; 1.02-1.56	0.031	1.27; 0.97-1.67	0.080
介護予防訪問介護	非実施	1.00		1.00		1.00	
	実施	0.66; 0.48-0.91	0.011	0.94; 0.77-1.15	0.548	0.91; 0.70-1.18	0.489
介護予防通所介護 (運動器の機能向上)	なし	1.00		1.00		1.00	
	あり	2.58; 1.87-3.56	0.000	1.08; 0.88-1.31	0.465	1.29; 1.01-1.65	0.042
介護予防通所介護 (栄養改善)	なし	1.00		1.00		1.00	
	あり	0.52; 0.19-1.38	0.188	0.54; 0.25-1.15	0.111	0.49; 0.19-1.25	0.134
介護予防通所介護 (口腔機能の向上)	あり	1.00		1.00		1.00	
	あり	1.23; 0.47-3.17	0.675	1.63; 0.78-3.40	0.193	1.17; 0.48-2.83	0.728
介護予防通所介護 (アクティビティ)	なし	1.00		1.00		1.00	
	あり	3.02; 2.09-4.37	0.000	1.09; 0.88-1.36	0.432	1.40; 1.06-1.85	0.016
介護予防通所リハビリテーション (運動器の機能向上)	なし	1.00		1.00		1.00	
	あり	3.34; 2.34-4.76	0.000	1.30; 1.06-1.60	0.012	1.39; 1.08-1.80	0.012
介護予防通所リハビリテーション (栄養改善)	なし	1.00		1.00		1.00	
	あり	0.18; 0.02-1.70	0.135	0.75; 0.35-1.61	0.455	1.05; 0.40-2.74	0.923
介護予防通所リハビリテーション (口腔機能の向上)	なし	1.00		1.00		1.00	
	あり	7.24; 0.79-66.48	0.080	1.42; 0.66-3.05	0.370	1.24; 0.47-3.28	0.671

※上記の他、年齢、性別、同居者、ふだんの過ごし方、基本チェックリスト得点、長谷川式簡易知能評価スケール、GDS15、認知的活動、疾患既往歴、社会的支援を投入して分析

認知症予防・支援①

認知症に係るリスクが高い(基本チェックリストで認知症関連の3項目のいずれかが該当する、または長谷川式知能評価スケールが20点以下)者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析、および日常生活自立度の維持・改善の分析

○年齢は、若年であるほど改善しやすい。

・特定高齢者・要支援者ともに、年齢が低いほど認知症高齢者の日常生活自立度の維持・改善のオッズ比が有意に1より大。

○独居者は改善しやすい。

・要支援者では、同居者がいない場合に基本チェックリスト(認知症関連項目)の改善のオッズ比が有意に1より大。

○基本チェックリスト得点が低い(生活機能の程度が高い)者は改善しやすい。 ⇨ 生活機能の低下が少ない段階からの対応が重要

・特定高齢者では、基本チェックリスト得点が低い方が基本チェックリスト(認知症関連項目)の改善、認知症高齢者の日常生活自立度の維持・改善のオッズ比が有意に1未満。

○認知機能が低下していない者は改善しやすい。 ⇨ 認知機能の低下が少ない段階からの対応が重要

・要支援者では、長谷川式簡易知能評価スケールが20点以下(認知症疑い)の場合に基本チェックリスト(認知症関連項目)の改善のオッズ比が有意に1より大。

○認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)は改善しやすい。 ⇨ 認知的活動を活発に行うことが重要

・特定高齢者では、認知的活動の得点が低いほど、認知症高齢者の日常生活自立度の維持・改善のオッズ比が有意に1未満。

・要支援者では、認知的活動の得点が低いほど、基本チェックリスト(認知症関連項目)および長谷川式簡易知能評価スケールの改善のオッズ比が有意に1未満。

	特定高齢者						要支援者					
	認知症高齢者の日常生活自立度		基本チェックリスト(認知症関連項目)		長谷川式簡易知能評価スケール		認知症高齢者の日常生活自立度		基本チェックリスト(認知症関連項目)		長谷川式簡易知能評価スケール	
	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値
年齢	0.95(0.93-0.98)	0.00	1.00(0.96-1.04)	0.97	0.97(0.92-1.03)	0.34	0.97(0.96-0.98)	0.00	0.99(0.97-1.01)	0.27	0.99(0.97-1.01)	0.32
性別												
男性	1.10(0.76-1.59)	0.61	0.98(0.57-1.68)	0.93	1.76(0.86-3.58)	0.12	1.00(0.85-1.18)	0.99	1.18(0.90-1.56)	0.24	1.19(0.89-1.61)	0.24
女性	1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00	
同居者												
なし	0.89(0.60-1.32)	0.57	1.26(0.64-2.48)	0.51	0.58(0.24-1.42)	0.23	1.08(0.91-1.27)	0.39	1.43(1.05-1.96)	0.02	1.11(0.80-1.56)	0.55
あり	1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00	
普段の過ごし方(役割)												
なし	1.27(0.92-1.77)	0.15	1.22(0.73-2.04)	0.45	0.89(0.44-1.79)	0.74	0.87(0.75-1.02)	0.09	0.98(0.74-1.32)	0.93	0.76(0.55-1.05)	0.10
あり	1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00	
基本チェックリスト得点	0.95(0.91-0.99)	0.01	0.92(0.85-0.98)	0.01	0.93(0.85-1.02)	0.12	1.00(0.99-1.02)	0.59	0.98(0.95-1.02)	0.30	1.01(0.97-1.04)	0.68
長谷川式簡易知能評価スケール												
20点以下	0.67(0.44-1.02)	0.06	0.65(0.37-1.15)	0.14			0.86(0.74-1.03)	0.10	0.55(0.42-0.71)	0.00		
21点以上	1.00		1.00				1.00		1.00		1.00	
GDS15												
11点以上	1.36(0.67-2.80)	0.39	0.40(0.16-0.98)	0.04	0.94(0.30-2.97)	0.91	0.96(0.76-1.23)	0.78	1.07(0.75-1.54)	0.71	1.12(0.74-1.70)	0.61
10点以下	1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00	
認知的活動												
14点以下	0.64(0.43-0.94)	0.02	0.46(0.36-1.16)	0.14	1.42(0.64-3.15)	0.39	0.88(0.75-1.05)	0.15	0.71(0.52-0.97)	0.03	0.64(0.45-0.92)	0.02
15-18点	0.67(0.46-0.97)	0.04	1.08(0.58-1.99)	0.82	0.83(0.36-1.98)	0.69	0.98(0.81-1.17)	0.79	0.98(0.69-1.40)	0.94	0.92(0.61-1.37)	0.67
19点以上	1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00	
疾患既往歴(脳血管疾患)												
あり	1.00(0.60-1.68)	1.00	1.54(0.70-3.39)	0.28	1.23(0.47-3.19)	0.68	0.83(0.69-1.00)	0.05	1.26(0.93-1.70)	0.14	0.91(0.64-1.29)	0.62
なし	1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00	
疾患既往歴(関節疾患)												
あり	1.17(0.80-1.73)	0.42	0.82(0.44-1.53)	0.53	1.87(0.82-4.26)	0.14	1.00(0.85-1.18)	0.98	1.23(0.91-1.67)	0.18	1.45(1.04-2.01)	0.03
なし	1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00	
疾患既往歴(認知症)												
あり	0.95(0.45-2.00)	0.89	0.41(0.17-0.98)	0.04	0.11(0.03-0.40)	0.00	1.63(1.16-2.30)	0.01	0.67(0.44-1.01)	0.06	0.36(0.23-0.56)	0.00
なし	1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00	
疾患既往歴(骨折・転倒)												
あり	1.07(0.64-1.78)	0.81	0.92(0.35-2.37)	0.86	1.56(0.38-6.35)	0.53	0.96(0.81-1.16)	0.73	1.02(0.74-1.41)	0.90	1.47(1.02-2.11)	0.04
なし	1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00	
疾患既往歴(高齢による衰弱)												
あり	1.53(0.81-2.91)	0.19	2.63(0.95-7.30)	0.06	3.45(0.92-12.98)	0.07	0.82(0.65-1.04)	0.10	1.15(0.77-1.73)	0.49	0.84(0.53-1.35)	0.48
なし	1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00	

※上記の他、社会的支援、介護予防サービスを投入して分析

認知症予防・支援②

認知症に係るリスクが高い(基本チェックリストで認知症関連の3項目のいずれかが該当する、または長谷川式簡易知能評価スケールが20点以下)者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析、および日常生活自立度の維持・改善の分析

- 運動器の機能向上サービスおよび口腔機能の向上サービスを受けている者は、改善しやすい。
 ・特定高齢者では、運動器の機能向上サービスおよび口腔機能の向上サービスを実施している場合は、基本チェックリスト(認知症関連3項目)の改善のオッズ比が有意に1より大。

		特定高齢者						要支援者					
		認知症高齢者の日常生活自立度		基本チェックリスト(認知症関連項目)		長谷川式簡易知能評価スケール		認知症高齢者の日常生活自立度		基本チェックリスト(認知症関連項目)		長谷川式簡易知能評価スケール	
		オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値	オッズ比(95%CI)	p値
通所型介護予防事業	非実施	1.00		1.00		1.00		—		—		—	
	実施	2.56(0.98-6.67)	0.05	1.92(0.39-10.00)	0.42								
訪問型介護予防事業	非実施	1.00		1.00		1.00		—		—		—	
	実施	1.89(0.85-4.17)	0.12	0.81(0.26-2.50)	0.72	0.20(0.05-0.76)	0.02						
運動器の機能向上	非実施	1.00		1.00		1.00		—		—		—	
	実施	0.93(0.56-1.56)	0.8	3.45(1.25-9.09)	0.02	4.17(0.91-20.00)	0.07						
栄養改善	非実施	1.00		1.00		1.00		—		—		—	
	実施	0.56(0.34-0.91)	0.02	0.35(0.13-1.00)	0.05	2.59(0.64-11.11)	0.18						
口腔機能の向上	非実施	1.00		1.00		1.00		—		—		—	
	実施	0.93(0.61-1.59)	0.94	2.86(1.02-7.69)	0.05	0.70(0.18-2.70)	0.6						
認知症予防・支援	非実施	1.00		—		1.00		—		—		—	
	実施	4.35(0.57-33.33)	0.16			0.26(0.03-2.04)	0.2						
介護予防通所介護	非実施	—		—		—		1.00		1.00		1.00	
	実施							0.90(0.75-1.08)	0.26	0.94(0.67-1.32)	0.73	0.95(0.67-1.35)	0.77
介護予防通所リハビリテーション	非実施	—		—		—		1.00		1.00		1.00	
	実施							0.82(0.67-0.99)	0.04	0.88(0.62-1.28)	0.52	1.00(0.68-1.47)	0.99
介護予防訪問介護	非実施	—		—		—		1.00		1.00	0.56	1.00	
	実施							0.93(0.77-1.12)	0.43	1.11(0.79-1.56)		1.16(0.80-1.67)	0.43

※年齢、性別、同居者、ふだんの過ごし方、疾患既往歴、基本チェックリスト得点、GDS15、長谷川式簡易知能評価スケール、認知的活動、社会的支援を投入して分析

うつ予防・支援①

うつに係るリスクが高い(基本チェックリストでうつ関連の5項目中2項目以上該当する、GDS15スコアで11点以上である)者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析

○ふだんの過ごし方で役割がある者は、改善しやすい → ふだんの生活に役割を持たせることが重要

・要支援者では、ふだんの生活で役割がある場合は、基本チェックリスト(うつ関連項目)の改善のオッズ比が有意に1より大。

○日常生活を支援してくれる人、具合が悪いときに病院に連れて行ってくれる人がいる者は、改善しやすい。 → 生活におけるサポート体制を整備することが重要

・特定高齢者では、具合が悪いときに病院に連れて行ってくれる人がいる場合に、基本チェックリスト(うつ関連項目)およびGDS15の改善のオッズ比が有意に1より大。

・要支援者では、日常生活を支援してくれる人がいる場合に、基本チェックリスト(うつ関連項目)の改善のオッズ比が有意に1より大。

	特定高齢者				要支援者			
	基本チェックリスト (うつ関連項目)		GDS15		基本チェックリスト (うつ関連項目)		GDS15	
	オッズ比 (95% CI)	p-値	オッズ比 (95% CI)	p-値	オッズ比 (95% CI)	p-値	オッズ比 (95% CI)	p-値
ふだんの過ごし方(役割)	1.19(0.84-1.70)	0.332	0.51(0.16-1.64)	0.257	1.24(1.02-1.51)	0.034	0.89(0.55-1.44)	0.628
同居者	0.86(0.57-1.29)	0.473	0.61(0.21-1.81)	0.372	0.87(0.71-1.07)	0.189	0.76(0.49-1.18)	0.22
困った時の相談相手	1.68(0.46-6.15)	0.437	3.97(0.47-33.72)	0.207	1.03(0.66-1.60)	0.899	1.11(0.54-2.27)	0.779
身体の具合が悪いときの相談相手	0.97(0.31-2.99)	0.957	5.59(0.65-48.19)	0.117	1.03(0.63-1.68)	0.900	0.50(0.23-1.11)	0.089
日常生活を支援してくれる人	1.18(0.60-2.31)	0.627	0.75(0.15-3.85)	0.732	1.53(1.09-2.16)	0.014	1.34(0.70-2.58)	0.372
具合が悪いときに病院に連れて行ってくれる人	2.48(1.05-5.87)	0.039	7.95(1.10-57.63)	0.040	1.23(0.86-1.77)	0.250	0.55(0.30-1.04)	0.067
寝込んだときに身のまわりの世話をしてくれる人	0.69(0.36-1.33)	0.268	0.50(0.11-2.19)	0.354	1.11(0.83-1.48)	0.483	0.97(0.56-1.70)	0.922

※上記の他、年齢、性別、要介護度、基本チェックリスト得点、GDS15を同時に投入

うつ予防・支援②

うつに係るリスクが高い(基本チェックリストでうつ関連の5項目中2項目以上該当する、GDS15スコアで11点以上である)者を対象とした特定高齢者・要支援者別の分析。なお、基本チェックリストでの分析対象者とGDS15での分析対象者は大きく異なる。

- 運動器の機能向上サービスを受けている者は、GDS15スコアが改善しやすい。
 - 特に、うつの程度が軽度の者は、運動器の機能向上サービスの実施により改善しやすい。
 - ・要支援者では、運動器の機能向上サービスを実施している場合は、GDS15スコアの改善のオッズ比が有意に1より大。
 - ・特に、GDS15スコアが11点の者が運動器の機能向上サービスを実施している場合、GDS15スコアの改善のオッズ比が有意に1より大。
- ※一部のサービスで、基本チェックリストとGDS15スコアで結果が異なっているが、両指標の分析対象者が大きく異なっていることによるものと考えられる。

	特定高齢者				要支援者			
	基本チェックリスト (うつ関連項目)		GDS15		基本チェックリスト (うつ関連項目)		GDS15	
	オッズ比 (95% CI)	p-値	オッズ比 (95% CI)	p-値	オッズ比 (95% CI)	p-値	オッズ比 (95% CI)	p-値
通所型介護予防事業	0.50(0.29-0.86)	0.013	0.91(0.32-2.63)	0.861	—		—	
訪問型介護予防事業	0.74(0.37-1.48)	0.390	1.00(0.19-5.39)	0.998	—		—	
介護予防通所介護	—		—		0.95(0.76-1.18)	0.629	1.40(0.89-2.19)	0.147
介護予防通所リハビリテーション	—		—		0.83(0.65-1.07)	0.159	1.28(0.76-2.15)	0.348
介護予防訪問介護	—		—		0.88(0.71-1.09)	0.252	0.78(0.51-1.20)	0.251
運動器の機能向上	1.30(0.73-2.31)	0.379	0.75 (0.23 - 2.49)	0.64	0.93(0.76-1.13)	0.441	1.83(1.20-2.78)	0.005
栄養改善	0.63(0.38-1.05)	0.077	0.81 (0.31 - 2.53)	0.729	0.96(0.45-2.05)	0.916	3.05(0.62-15.04)	0.171
口腔機能の向上	1.32(0.82-2.15)	0.254	1.34 (0.42 - 4.28)	0.626	0.85(0.40-1.79)	0.667	0.52(0.12-2.30)	0.385
うつ予防・支援	1.52(0.44-5.22)	0.504	2.71(0.23-31.56)	0.427	—		—	
アクティビティ	—		—		1.23(0.97-1.55)	0.085	1.21(0.73-2.00)	0.469

	要支援											
	GDS15;11点(軽度)						GDS15;12点以上					
	サービス利用				オッズ比 (95% CI)	P-値	サービス利用				オッズ比 (95% CI)	P-値
	あり	改善(%)	なし	改善(%)			あり	改善(%)	なし	改善(%)		
運動器の機能向上	75	68.0	101	48.1	2.59(1.30-5.14)	0.007	100	44	190	38.4	1.52(0.88-2.63)	0.136
栄養改善	27	59.3	149	56.4	8.01(0.69-93.15)	0.096	34	50	256	39.1	0.95(0.07-12.79)	0.971
口腔機能の向上	30	53.3	146	57.5	0.16(0.02-1.60)	0.119	37	51.4	253	38.7	1.87(0.16-21.94)	0.618
アクティビティ	38	55.3	138	57.2	1.11(0.47-2.64)	0.806	67	46.3	223	38.6	1.34(0.71-2.52)	0.367

※上記の他、年齢、性別、要介護度、基本チェックリスト得点、GDS15を同時に投入

まとめ ①

◎属性・介護予防サービス利用と介護予防に係る各種指標の推移との関連の分析について、ロジスティック回帰分析によって分析を行ったところ、主な結果は、以下のとおりであった。ただし、今回分析を行ったデータは、保健医療技術を評価するための最も妥当な方法であるランダム化比較試験(RCT)ではなく、前向きコホート研究のデータであり、結果の解釈に当たっては、慎重でなければならない。

1. 全体分析

- ふだんの過ごし方で役割がある者は維持・改善しやすい。 ⇨ ふだんの生活に役割を持たせることが重要
- 認知機能が高い者は、維持・改善しやすい。 ⇨ 認知機能の低下が少ない段階からの対応が重要
- 認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)は、維持・改善しやすい。 ⇨ 認知的活動を活発に行うことが重要

2. 運動器の機能向上

- ふだんの過ごし方で役割のある者は改善しやすい。 ⇨ ふだんの生活に役割を持たせることが重要
- 基本チェックリスト得点が高い(生活機能の程度が高い)ほど改善しやすい。 ⇨ 生活機能の低下が少ない段階からの対応が重要
- 認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)は改善しやすい。 ⇨ 認知的活動を活発に行うことが重要
- 要支援者に対する介護予防通所介護(運動器の機能向上サービス)の実施者は改善しやすい。
- 実施回数が一定の回数以上の場合で維持・改善しやすい。
- 1回の実施時間が一定時間以上の場合で維持・改善しやすい。
- 属性とサービスとの関係は、以下のとおりとなった。
 - ⇨ 対象者の属性に応じたサービスを提供することで、より効果的・効率的なサービスとなる可能性がある
 - ・脳血管疾患の既往がない者では、マシンによる筋力増強訓練で維持・改善しやすい。
 - ・認知症の既往がない者では、日常生活動作に関わる訓練で維持・改善しやすい。
 - ・認知機能が低下していない者では、マシンによらない筋力増強訓練が維持・改善しやすい。
 - ・認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)では、日常生活動作に関する訓練及びレクリエーション・ゲームで維持・改善しやすい。
 - ・要支援者よりも特定高齢者の方が、すべての内容で維持・改善しやすい。

3. 栄養改善

- 認知症の既往歴のない者及び高齢による衰弱の既往歴のない者では、改善しやすい。
- 栄養改善サービスの利用による改善のオッズに違いはなかった。
- 栄養改善サービスを利用した者を対象とした、属性やサービスと栄養関連の指標の推移との関連については、栄養改善サービスの利用者が少ないことから分析ができなかった。

まとめ ②

4. 口腔機能の向上

- 基本チェックリスト得点が低い(生活機能の程度が高い)者は改善しやすい。 ⇨ 生活機能の低下が少ない段階からの対応が重要
- 認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)は改善しやすい。 ⇨ 認知的活動を活発に行うことが重要
- 介護予防通所介護、介護予防通所リハビリテーションの口腔機能の向上サービスの実施者は改善しやすい。
- 専門職による個別的服务の1回当たりの実施時間が10分以上30分未満の場合に維持 改善しやすい

5. 閉じこもり予防・支援

- ふだんの過ごし方で役割がある者は改善しやすい。 ⇨ ふだんの生活に役割を持たせることが重要
- 困ったときの相談相手、体の具合が悪いとき病院に連れて行ってくれる人がいる者は、改善しやすい。
⇨ 相談できる環境を整備することが重要
- 基本チェックリスト得点が低い(生活機能の程度が高い)者は改善しやすい。 ⇨ 生活機能の低下が少ない段階からの対応が重要
- 認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)は改善しやすい。 ⇨ 認知的活動を活発に行うことが重要
- 通所サービスを受けている者は、改善しやすい。特に、運動器の機能向上サービスやアクティビティサービスを受けている者は、改善しやすい。

6. 認知症予防・支援

- 基本チェックリスト得点が低い(生活機能の程度が高い)者は改善しやすい。 ⇨ 生活機能の低下が少ない段階からの対応が重要
- 認知機能が低下していない者は改善しやすい。 ⇨ 認知機能の低下が少ない段階からの対応が重要
- 認知的活動の得点が高い者(認知的活動が活発な者)は改善しやすい。 ⇨ 認知的活動を活発に行うことが重要
- 運動器の機能向上サービスや口腔機能の向上サービスを受けている者は、改善しやすい。

7. うつ予防・支援

- ふだんの過ごし方で役割がある者は改善しやすい。 ⇨ ふだんの生活に役割を持たせることが重要
- 日常生活を支援してくれる人、具合が悪いときに病院に連れて行ってくれる人がいる者は、改善しやすい。
⇨ 生活に支障がない、相談できる環境を整備することが重要
- 認知機能の低下がない者、生活機能の程度が高い者、特に、認知機能の低下が少ない段階からの対応が重要